

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨
－ 発展部会－

開催日：平成23年10月7日（金） 9：30～11：30

場 所：トキハ会館6F さくら

出席委員： 山崎委員 板井委員 宇津宮委員 大井委員
小野委員 金丸委員 西村委員 平田委員
堀川委員 宮町委員 八坂委員

- 幼稚園では、質の高い先生が現場にいないうえ、先生の定着率も低い。県として対応してもらいたい。
- ネットいじめに関する記述を入れてもらいたい。
- 「地域に根ざした大学等高等教育の推進」の施策では指標が1つしかないので、公開講座に関することを指標にできないだろうか。
- 通学合宿などの生活体験の場を子どもたちに提供する取り組みが必要。
- 公立文化施設スタッフと地域で文化を支える人や文化団体との交流会があると助かる。
- 「NPOの育成」の主な取り組みの中に「NPOやボランティアなどの交流の促進」とあるが、「NPOやボランティアなどの交流の場の促進」とした方がよい。現場の人たちは交流の場を求めている。
- 市町村道や広域農道を有効活用することで、基礎インフラの活用、交通ネットワークの体系づくりができると思うので、その視点を入れてはどうか。
- 個人情報保護は保護しながらも、大事な時には利用するという考えかたの普及が必要。個人情報保護を強調し過ぎると、震災などの有事の際に、大きなデメリットが生じてしまう。
- 「分権確立に向けた行政体制の整備」の主な取り組みの中に、「公的資金の効率的な運用」といった住民視点の言葉を入れてもらいたい。
- 障がい者スポーツとしてレクリエーションスポーツの記載があるが、ユニバーサルスポーツとして整理したほうが良いのではないかと。